

表紙の写真

セリ科の *Bupleurum falcatum* Linn. ミシマサイコ，柴胡（日本産，中国産），saikosaponin a
（中国甘肅省隴西の薬用植物園にて，2010年7月27日，小松かつ子撮影）

漢方医学では，胸脇苦満に用いられる一群の漢方処方を柴胡剤と称し，頻用される。原植物のミシマサイコはかつて静岡県三島地方をはじめ火山灰土壌の地域に自生していたが，現在は大変少ない。2008年度の国内使用量は約444トンでその内国内生産量は5%にすぎず，すべて栽培品である。平成25年度に農林水産省－厚生労働省が開催した「薬用作物の産地化に向けたブロック会議」において，日本漢方生薬製剤協会加盟会社が「日本で生産拡大を図りたいと考えている品目」に挙げている。かつての野生品のように，根を紙上に載せたとき油分が付くくらいのものを栽培したいものである。